

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、7月米雇用統計が9月利上げの確度を高める内容となつたことでドル買いが優勢となり、一時3.56台後半までドル高レアル安が進行した。しかし、ここまで非常に早いペースでレアル売りが進んだこともあり、週末を控えたポジション調整から引けにかけては反落。3.50台後半で取引を終えた。注目の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比21.5万人増と、ほぼ市場予想通りの堅調な数字を記録(前月分も22.3万人→23.1万人へ上方修正)。失業率は前月から変わらず5.3%となつたが、2008年4月(5.0%)以来の低水準を維持している。平均時給は前月比で0.2%増、前年比で2.1%増となつた。FRBは、賃金の伸びが上向いたとしても必ずしも金融政策の正常化を開始する条件とはならないことを示唆しているものの、労働市場が完全雇用の状態に向けて前進を続けていることは今回の結果を受けて確認できたため、マーケットがドル一段高の展開へ傾くことも想定される。

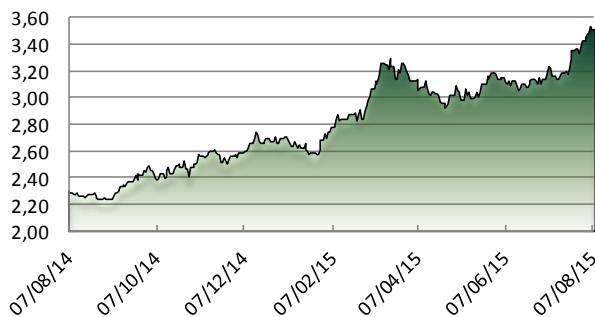
ブラジル中銀は6日、為替市場への介入手段として実施している通貨スワップのロールオーバーを従来の水準からほぼ2倍に増やすと発表。Levy財務相は市場介入の象徴的存在であった為替介入プログラムを漸進的に削減する方針を示していたが、約12年ぶりの水準に低迷するレアルを下支えするため方針を転換。この影響もあり、7日のレアル相場は一旦落ち着きを取り戻した。

マーケットデータ

Indicator	Unit	8月6日	8月7日	前日比	7月7日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,5356	3,5072	-0,0284	3,1862 +0,3210
	対円	JPY	35,28	35,41	+0,13	38,46 -3,05
	対ユーロ	BRL	3,8626	3,8477	-0,0149	3,5079 +0,3398
円	対ドル	JPY	124,74	124,24	-0,5000	122,54 +1,7000
	対ユーロ	JPY	136,28	136,24	-0,04	134,93 +1,31
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	50.011	48.577	-1.434	52.344	-3.767
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フォルトスワップ)	bps	321,6	326,3	+4,7	263,2	+63,1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	13,66	13,84	+0,18	12,59	+1,25
DI Future Oct16 (金利先物)	%	14,38	14,48	+0,10	13,97	+0,51
3 Months US Dollar Libor	%	0,311	0,312	+0,001	0,283	+0,029
CRB Index (国際商品指数)	Index	198,5	198,3	-0,2	215,5	-17,2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

